

## 「いのち」を体感できる場を提供

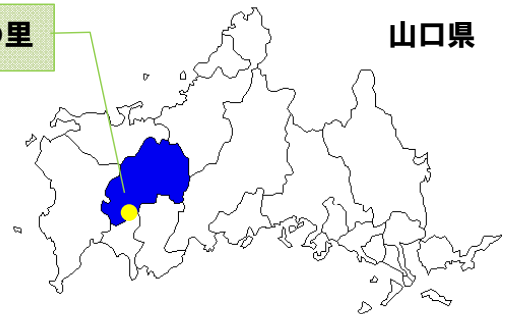
NPO法人 きららの里は、山口県美祢市を中心に活動している、会員数35名の団体です。  
平成13年、山口県で開催された「きらら博」を通して知り合った仲間と立ち上げました。「農業・福祉・教育」を活動のテーマとして、「いのちのきらめき」を体感できる場を提供しています。

### 団体の概要

- 名称 NPO法人 きららの里
- 所在地 山口県美祢市伊佐町河原466番地
- 代表者名 西山 美貴
- 電話 0837-53-0500
- FAX 0837-52-5396
- HPアドレス <http://www.socio.gr.jp/kirara/>

NPO法人 きららの里

山口県



### 食育活動の概要

#### ★ 活動の動機・目的

便利で快適な生活が実現できるようになってきた一方で、いのちあるものとの関わりが少なくなり、こうした経験から得られるはずの「いのちあるものへの思いやり」が失われつつあります。このような現状を少しでも変えるために、目で見、耳で聞いて、鼻でかいで、舌で味わって、手で触って、「いのちを体感」することが多くの人たちに必要だと考えており、体験活動の要望があれば、受け入れをしています。

#### ★ 活動の概要

「農業・福祉・教育」の3つをテーマとして、  
①農業・・・子ども達を対象とした食農教育、  
②福祉・・・障害者の方への乗馬体験、  
③教育・・・たけとんぼ作りなどの自然体験学習  
などの活動をしています。

10年前、「NPO法人 きららの里」の立ち上げに際して、地元の伊佐中央幼稚園から協力依頼があり、幼児を対象とした農業体験に取り組むこととしました。伊佐中央幼稚園では、じゃがいもの植え付け、たまねぎの収穫、さつまいもの植え付け、さつまいもの管理、など、年に8回体験を実施しています。

さつまいもの管理のひとつに「蔓返し」という作業があり、葉に栄養がいくのを防ぎ、より大きな芋を収穫する為の作業です。同時に茎を収穫し、茎も食べられる事も畑で学びました。子どもたちには、植え付けと収穫体験だけではなく、ちゃんと管理することにより収穫につながることも学んでもらいたいと考えています。



これまでの成果・課題

田舎に育っていても、農作業を知らない保護者もいますが、子どもが体験をすることにより親の意識が変わってきています。子ども達は、体験をすることにより、食への興味が出てきたり、いろんな応用ができるようになってきていると感じています。

未就学児への農業体験だけでなく、小学生を対象に自分で作ったものを販売するまでの体験をさせたいと思っていますが、小学校はカリキュラムがびっしり組まれていてなかなか難しいのが実情です。

今後の構想

おじいちゃん・おばあちゃんとの関わりを持つことにより、おじいちゃん・おばあちゃんの知恵を伝えていきたいと思っています。地区の世代間交流会が開催されていますが、体験活動にも関わってもらえればと思っています。

また、伊佐中央幼稚園だけでなく、他の幼稚園等からの要望があれば、受け入れていきたいとも思っています。

イモの管理(茎の収穫)の様子(平成23年9月15日)

きららの里の畑において、伊佐中央幼稚園の園児50名(5歳児)が、春に苗を植えたイモの茎の収穫をしました。



バスに乗って、子どもたちがやって来ました。



こんなに大きくなったよ～



明日は、この茎で、味噌汁をつくるんだ!

今日は苗植えの後、久しぶりに来たので、生長したことを大変喜んでいるようです。嫌いなものでも自分で作った物は、一口でも食べようとしています。このような場があることは、子ども達にとっては貴重な体験になります。

(by 伊佐中央幼稚園の先生)



できあがった味噌汁★



代表者の思い



西山 美貴さん

食育の基本は食卓です。忙しい中でも、家族と一緒に食卓を囲む時間をする事が重要で、できるだけそういった時間を取ることにしています。

子ども達に食卓でしつけをしたり、人を思いやる心を学んで欲しいと思っています。

自然の中で生き物とのふれあいなどを通じて、学び、癒し、感動する体験を多くの子ども達に経験してもらおうお手伝いができれば幸いです。